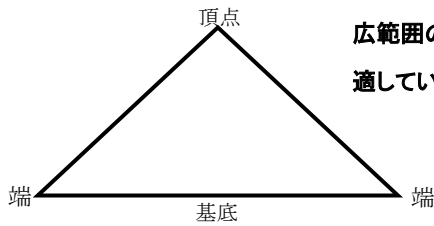


三角巾を使った包帯法

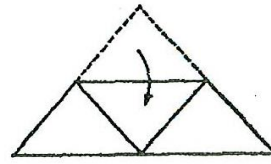
膝・足首捻挫 編

【1】三角巾とは

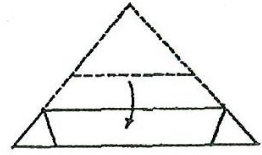


◆三角巾は
傷の大きさに応じて使用でき、
広範囲の傷や 関節の包帯に
適している

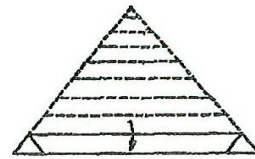
【2】たたみ三角巾の作り方



2つ折りたたみ三角巾

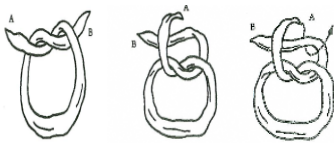


4つ折りたたみ三角巾

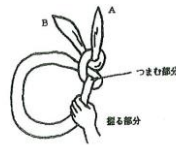


8つ折りたたみ三角巾

【3】結び方 (ほん結び)



【4】解き方



【5】膝の処置



① 膝を充分覆う位のたたみ三角巾を作り、患部に当てた保護ガーゼの上を覆う

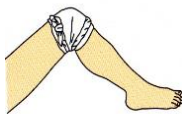


② 患部の外側の三角巾が足首方向になるようにして膝の後ろで交差させる (外側が下、と覚えると良い)

③ 交差させた三角巾の外側をもう一度足首方向になるように膝の後ろでねじる (外側が下、と覚えると良い)



④ 患部を覆った三角巾がずれないように、まわしながら布の上下をおさえる

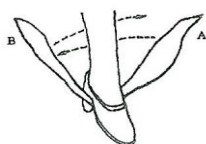


⑤ 結び目が外側上部になる位置に結び、端の始末をする

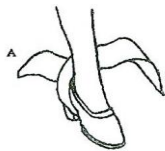


* 肘も同様に巻く

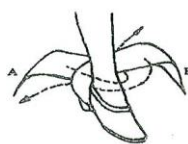
【6】足首捻挫



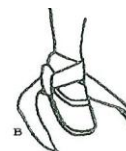
① 靴を履いたまま三角巾の中央部を土踏まずにかける



② 後ろ足首で交差



③ 前足首で交差



④ 両端を内側から通す



⑤ 斜め上部にひきあげ前足首で結ぶ